

名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会

次 第

1. 開 会

2. 学芸員による講演

- | | | |
|-------|--------|--------------------|
| 1月22日 | 原 史彦 | 「名古屋城天守・櫓・御殿」 |
| 1月23日 | 二橋 慶太郎 | 「名古屋城石垣石材の特徴について」 |
| 1月31日 | 堀内 亮介 | 「名古屋城天守の宝暦大修理について」 |

3. 名古屋市からの説明

4. 質疑応答

5. 閉 会

※名古屋市からの説明資料、及び、アンケートの内容につきましては、後日、名古屋市公式ウェブサイトに掲載します。

令和2年度

名古屋城天守閣の整備

なぜ、名古屋城天守閣を木造復元するのか

- 天守閣の老朽化
1959（昭和34）年の再建から60年以上が経過し、**耐震性能の確保が課題**に
→ 現行の耐震基準を下回るため、平成30年5月から入場禁止
- 史実に忠実な木造復元
豊富な史資料が現存
→ 外観、内部構造に至るまで**史実に忠実な復元が可能**



昭和実測図



金城温古録

名古屋城は近世城郭の最高峰

- 名古屋城は日本一の城郭
 - ・ **天守**は、現存最大の姫路城天守の2倍を軽く超える**巨大さ**
 - ・ **本丸御殿**は、二条城二の丸御殿と双璧をなす**近世城郭御殿の最高峰**
 - ・ 現存する**石垣**の量は**大阪城、江戸城に次ぐ規模**
 - ・ **二之丸庭園**は、現存する城内庭園としては**最大**

名古屋城は近世城郭の最高峰

近世期の名古屋城本丸を実感できる
歴史的、文化的空間を再現



- **特別史跡名古屋城跡の
本質的価値の理解の促進**
- **文化面及び観光面における魅力の向上**

特別史跡名古屋城跡の本質的価値

- 尾張徳川家の居城であった
- 現存する遺構や、豊富で詳細な史資料により、築城期から近世までの改修・改変の変遷をたどることができる
- 築城当時の都市計画が、現在の名古屋の都市形成のきっかけとなっている

現天守閣の位置づけ

- 意義・役割
 - ・ 戦後復興の象徴
 - ・ 展示収蔵機能を備えた博物館としての役割 など
- 記録の保存と記憶の継承
 - ・ 図面、写真、解体する部材の一部を保存
 - ・ 資料等のデジタル化・公表
 - ・ 部材の展示、グッズ化 など

復元事業の進捗状況

1. き損事故への対応

2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ
3. 木材の調達及び保管状況
4. バリアフリーの検討
5. 機運醸成

1. き損事故への対応

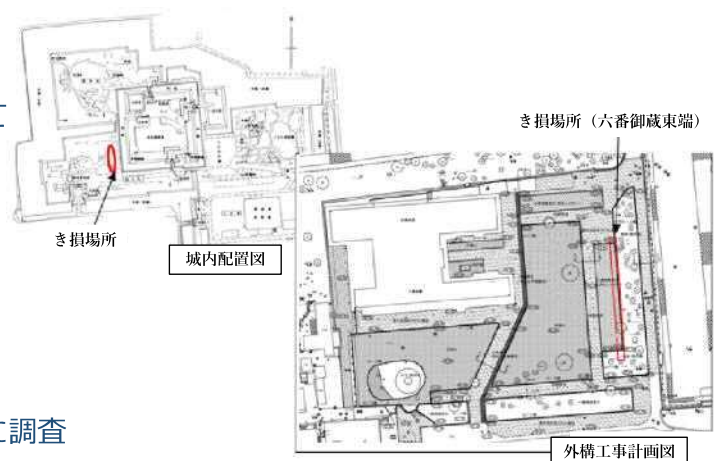
○ き損事故の概要

令和2年3月2日
展示収蔵施設の外構工事において
地中にあった石列をき損

▼
事故後は直ちに工事を中断し
き損した遺構を保全

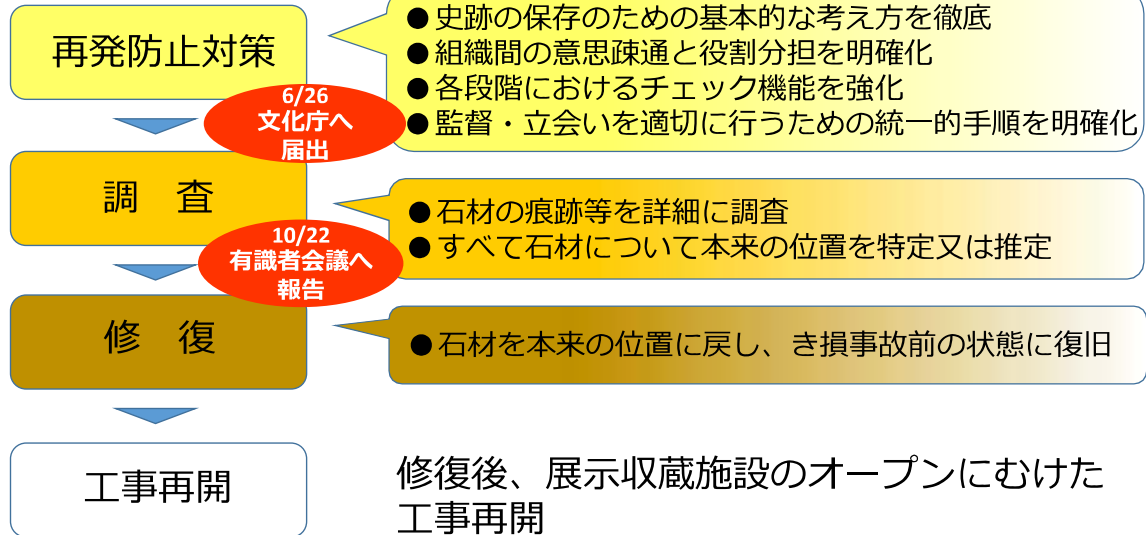
▼
事故調査委員会を設置し
事故時の状況や事故原因を詳細に調査

▼
有識者及び文化庁の指導・助言を得ながら、再発防止対策を策定



1. き損事故への対応

○ き損箇所の修復



復元事業の進捗状況

1. き損事故への対応

2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ

3. 木材の調達及び保管状況

4. バリアフリーの検討

5. 機運醸成

2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ

○ 現天守閣解体の現状変更許可申請に対する指摘事項への対応

現天守閣解体の現状変更許可申請

文化庁から申請に対する指摘事項

指摘事項への回答に必要な調査等の実施

調査

- ・ 内堀の地下遺構の把握、御深井丸側内堀石垣の現況及び安定性を確認するための追加発掘調査
- ・ 御深井丸の地下遺構把握のための発掘調査
- ・ 大天守台北面石垣の孕み出しについての調査・検討
- ・ 天守台石垣背面等の空隙についての調査

検討・整理

- ・ 現天守閣解体の理由が耐震対策のみか、木造天守復元のためかの検討、整理
- ・ 木造天守復元に係る計画の具体的内容の追加提出

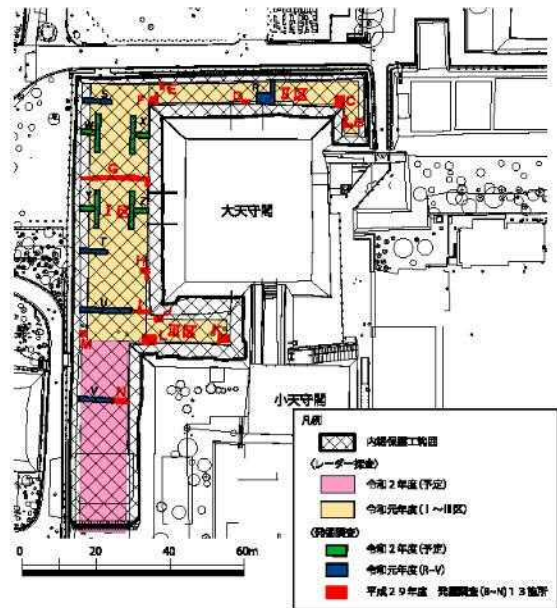
文化庁へ指摘事項への回答を提出

次のステップに進む環境へ

2. 文化庁からの指摘事項への対応

○ 本丸内堀の発掘調査

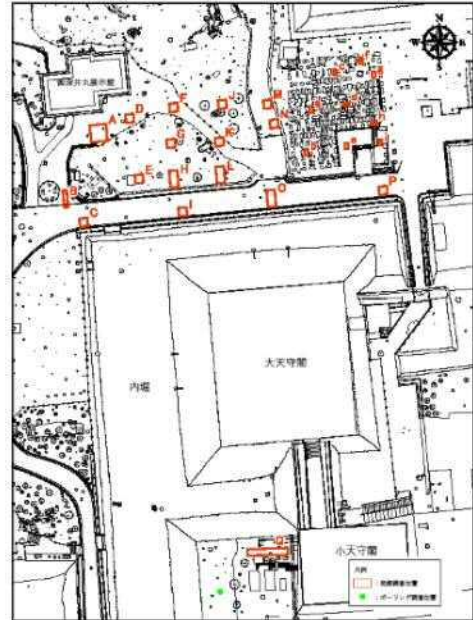
- ・ 内堀堀底の堆積状況を確認するための調査
- ・ 戦後の攪乱の状況、遺構の残存状況を確認
- ・ 石垣面については、三次元レーザー測量を実施
- ・ 令和2年11月から調査を開始



2. 文化庁からの指摘事項への対応

○御深井丸等地下遺構の発掘調査

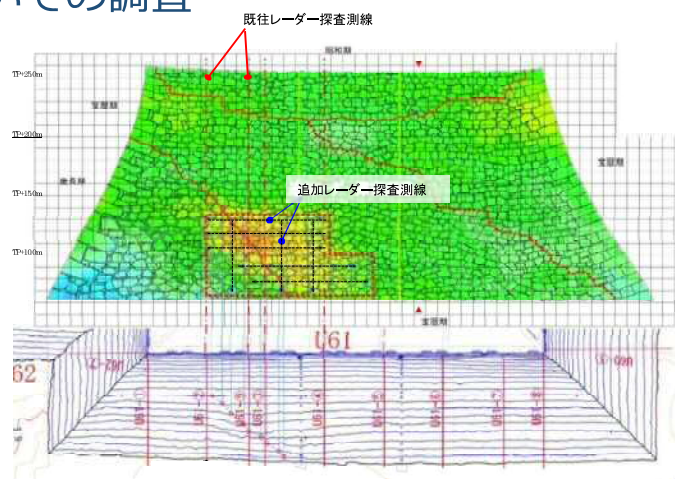
- 現天守閣解体工事に際し、仮設構台が設置される範囲について、地下遺構の状況を把握するための調査
- 計26か所でトレンチ調査を実施
- 小天守西側においては、地下遺構面の深さを把握するため、ボーリング調査を1か所実施
- 令和2年12月から調査を開始



2. 文化庁からの指摘事項への対応

○天守台石垣背面空隙についての調査

- 大天守台北面石垣に対し、追加のレーダー探査を実施
- 令和2年9月から調査を開始
- 現在、調査結果を取りまとめ中



大天守北面の追加レーダー探査位置

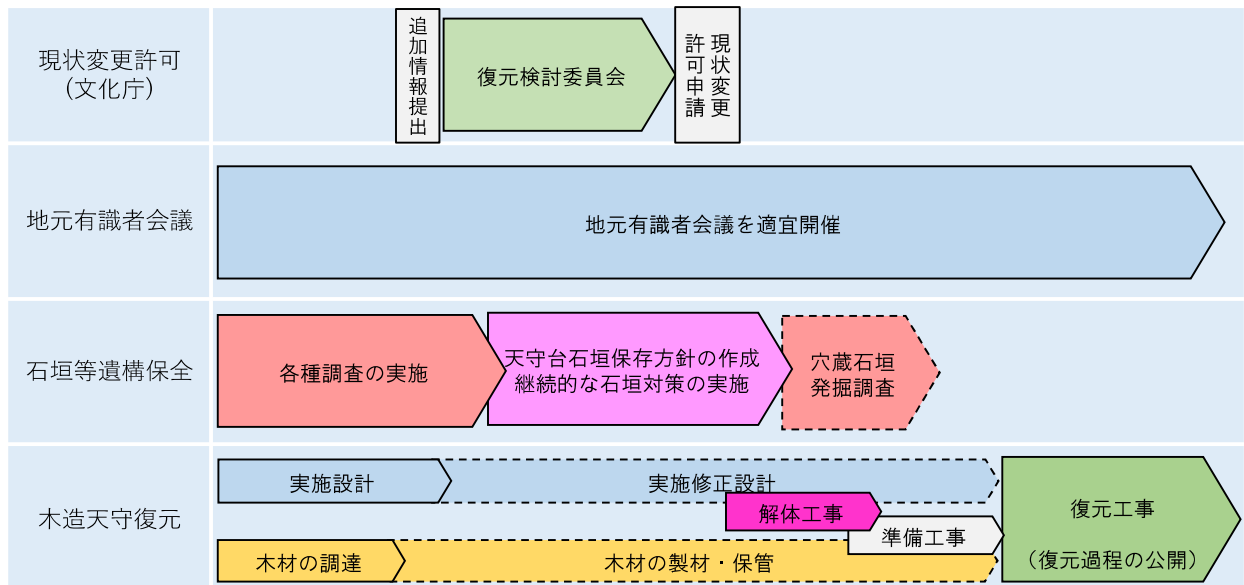
2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ

○ 現天守閣の解体理由と木造天守復元に係る計画の検討、整理

- 木造天守復元の具体的計画を本丸の基本構想の中で整理中



2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ



復元事業の進捗状況

1. き損事故への対応
2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ
- 3. 木材の調達及び保管状況**
4. バリアフリーの検討
5. 機運醸成

3. 木材の調達及び保管状況

○木材の調達

- ・江戸時代、名古屋城を築城するため、裏木曽地域（中津川）から大量の木材を調達した記録が残っている。
- ・木造天守復元に使用する木材は、裏木曽地域をはじめとした木材関係者のご協力をいただき、全国各地から調達している。

○木材の保管状況（令和2年度末見込み）



			内訳
保管場所	樹種	使用箇所	本数（本）
岩手	松	梁	466
岐阜	桧・松	柱・梁	772
愛知	桧・樺	柱・梁	96
奈良	桧	柱	335
高知	桧	柱・梁	402
計	—	—	2,071

復元事業の進捗状況

1. き損事故への対応
2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ
3. 木材の調達及び保管状況
- 4. バリアフリーの検討**
5. 機運醸成

4. バリアフリーの検討



○検討状況

障害者団体の皆様と、名古屋市障害者団体連絡会の場や、ワークショップ、個別の話し合い等の場を通して、史実に忠実な復元とバリアフリーの両立について説明をするとともに、新技術の公募についてもご意見をいただきながら、バリアフリーの実現に向けて検討を進めている。

復元事業の進捗状況

1. き損事故への対応
2. 文化庁からの指摘事項への対応と今後の流れ
3. 木材の調達及び保管状況
4. バリアフリーの検討

5. 機運醸成

5. 機運醸成

○ 機運醸成イベント

木造復元事業の機運を高めるため、イベントを行っています。

VR映像で木造天守の内部を体験



木造復元天守の模型（100分の1）を体験



5. 機運醸成

○ 寄附募集

いただいたご寄附は、木造復元事業に活用させていただいています。

イベント・城内での寄附募集



金シャチパートナー制度

木造復元事業をご支援
いただけるパートナーを
募集しています。

- ・ 売上げの一部の寄附
- ・ 物品支援
(企業等による製品の提供)
など

復元事業の推進

○ 事業推進の取り組み

- ・ 文化庁や地元有識者からの指導・助言に基づき適切に対応する
- ・ 史跡全体の適切かつ厳格な保存を最優先にし、石垣をはじめとした遺構等に影響を及ぼすことのないよう、慎重に整備を進める
- ・ 市民の皆さまの木造復元事業への理解が深まるよう機運の醸成に努める



メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 lines.